

令和2年度 市川市民活動団体事業補助金申請（一次募集） 審査対象事業一覧表（質疑実施団体）

事業番号	申請回数等	団体番号	団体名	昨年度指摘事項と改善状況	申請時、審査会への申し送り事項	各委員からの質疑・意見等(意見につきましては、団体へお伝えいたします。)										団体への確認内容または事務局からの回答					
						視戸委員	工藤委員	土屋委員	柳澤委員	若松委員	大西委員	松井委員	小野委員	鈴木委員	竹中委員						
1	4回目の団体	5	すがの会	昨年度申請無し				【質疑】 「昨年度申請無しから、今年度改めて申請された理由をお聞かせください。 ・印刷製本費の記載が無いようです。明記をお願いします。 ・とびいたコロナ対策を取られているかお聞かせください。このまコロナの状況に変化が無い場合も実施可能ですか？			【意見】 すがのフスガが本年も実施される場合、各方面、地域への広がりが見えない。経費の立て方も30年と同じであり問題です。 【意見】 伝承し、人材を育てる工夫が必要、報償費に納めずきではないか			【事務局への質疑？】 「事務局への質疑？」 そもそもですが、1事業のみとなっているのに、3つの事業は可なのでしうか。							○今年度改めて申請された理由について 昨年度は当初の申請時、(特別) 新聞掲載が実現していたため、補助金を申請せず実施可能と判断したが、今年度はそのような収入が戻らぬために(経常的収入のみ)に(経常的収入のみ)では事業の継続が難しく、改めて補助金の申請を行ったこと。 ○新聞掲載について ・交通費、消耗品費、印刷製本費について ・交通費8,000円(軽自動車4,000円、電車賃4,000円) ・消耗品費40,000円(コピー用紙印刷材料15,000円、すがのフスタ15,000円+抹茶7,000円、菓子5,000円、フスマなど10,000円) ・印刷製本費(製本代250,000円、紙一枚紙や写紙代など25,000円) ○絵本の内容や配布予定先について 市川市の歴史を知ることができ、また、戦い心を育てるきっかけになればいいと思うから、これまで「熊谷の百合園」訪問の手配など「幸免の常盤」は「なし」のつもりでいるが、この絵本を作成して、このように内容のものと考えている。 市内の小中学校・中央図書館・図書館のある各公民館などに寄贈する予定である。 ○コロナ禍の対応などについて 新型コロナウイルスの影響によって、予定している事業が実施できない、可能性は高くないと想定している。感染状況をまよ、最終者(全員)に届けて、会員外の40代や50代といった地域の支援者の協力を得よう。実施できたらと希望している。 なお、それぞれの事業におけるコロナウイルス感染症対策としては、一般的ではあるが、アルコール消毒液を用いた、アルコール消毒やマスクや手洗い、消毒薬の定期的な使用による予防が重要である。 ○地域への広がりについて 本会の目的である、高齢者による子どもたちの健全な心を育てるという理念が、本会の活動を通じて、広く市内に認知され、高齢者に限らず多くの市民が子どもたちのためにという意識をもつてもらえることを期待している。 認知拡大に関しては、習野地域に限り、短期小大のイベントといった地域でも実施している。高齢者会員が多くの活動参加者になることを期待している。可能な限り多くの市民が参加できるようにしたい。 なお、今年度の新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、当会は人数などの制限を考慮せざるを得ないと思っております。 また、予算的に大きい部分としては、航空観望のコンサートであるが、場所が習野公民館で実施しているものの、習野地区以外の参加者も増えている。この事業も当然新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、例年と異なる(例年、航空観望のみ)という可能性はある。一方で、状況にもよりますが、航空観望に向けて今年度以上に広い地域に案内するなども検討している。 そして、絵本製作に関しては、前述のとおり、市内の小中学校や図書館に加え、幼稚園や保育園などにも届けることも検討している。
9	4回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	21	いちかわ市民ミュージカル実行委員会	なし ※昨年度申請はありましたが、新型コロナウイルスの影響で事業中止(全部取消)となり回数にはカウントされません。実質5回目の団体となりますが、例年からは事業内容に変更があることから審査対象となります。			【質疑】 1回の参加人数が子どもで大人で合計20人になっているが、これをもう少し増員する事は出来ないのか。少なくとも合計30人とか。	【質疑】 講座、実習はコロナの状況に変化がない場合も実施可能ですか？	【意見】 練習時のコロナ対応消耗品の追加が必要と思われます。	【質疑】 事業の目的達成のレベル設定、技術指導の成果は？どのレベルまでの目標は？、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。			【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 補助対象経費の90%以上が報償費として計上されている。市民活動団体事業補助金として適正なのかどうか、違和感を感じます。 【意見】 事業の実施についてコロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。	【参加者人数について】→中学生2人+高校生3人+大学生3人+一般10人+a=20人とし「算出しています」。応募者数30人だと仮定していますが、定員25人と修正して参加者募集の努力をさせていただいたと思います。 【事業の実施について】コロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。					
20	5回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	37	NPO法人市川にオムツサキを生活させる会	なし	通信連絡費において、新たに新聞折込料を計上されています。昨年度、他団体においても新聞折込料の必要性について審査会でお諮りしたうえで認めていることから、当団体についても同様にお諮りするものです。 なお、当団体が計上する理由は下記のとおりです。 【計上理由】 地域住民への周知と興味関心の喚起のため、今までの郵送とは別の新聞折込を利用し、継続的なPR活動の一環を行ったこととです。 コロナ対策については、3密にならぬよう対応しています。	【意見】 飼育の現場に人を集めるに状況が厳しいので、ウェブサイトやYouTubeの充実により団体の活動PR、オムツサキの生育状況の発信などをより効果的に行っていたら地域への関心度がより高まるのではないかと。	【質疑】 新聞折込は3000部なので、中山・若宮地区が中心になるのでしょうか。今後の同地区以外での広報や活動拠点の展開があれはいいかと思っています。	特になし	【質疑】 自然環境保護の普及から取り組み学校の広がりを目標としています。			【質疑】 オムツサキ昨年度、事業の拡大について アンケートは、回答は当初現状のままの予定でしたが、以前からの地域を軸とした活動を行ってきました。現在北部地域の小学校の発行部数データによる、読者数増進を目標に入れています。 【取り組みについて】今年度昨年度と同じ小学校・幼稚園のみの事業計画ですが、新聞折込が必要性が理解出来て来ています。必要がないと思われず、必要がないと思われず。		【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 補助対象経費の90%以上が報償費として計上されている。市民活動団体事業補助金として適正なのかどうか、違和感を感じます。 【意見】 事業の実施についてコロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。	【参加者人数について】→中学生2人+高校生3人+大学生3人+一般10人+a=20人とし「算出しています」。応募者数30人だと仮定していますが、定員25人と修正して参加者募集の努力をさせていただいたと思います。 【事業の実施について】コロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。				
21	5回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	38	住み良い街を作る会	令和元年度申請時 ヒアリング実施団体 ※内容は【参考】過去の質疑等の経過一覧をご覧ください	昨年度、ヒアリングを実施し、事業の継続実施はお認めいただいているところで、新聞折込料については、効果の検証を行うことを条件に認められておりましたが、新型コロナウイルスの影響で検証に至らず、今年度継続して費用が計上されています。新たに資料作成の監修に係る費用が計上されており、計上理由は下記のとおりです。 【計上理由】 社会福祉施設での回覧や電話相談やネット相談にも活用できるよう、より詳細で分かりやすい資料を作成するため監修を外部依頼する。 (資料監修者は司法書士の若佐博行氏を予定)	【質疑】 広報がコロナのみという事で、市川市全域までの広報は困難もしくは相当の時間がかかると思いますが、そこで高齢者のチラシ提供費が消費品に計上されるのは了解の点も含めて違和感を感じます。	特になし	【質疑】 補助金の消耗品費及び原材料の内容から事業収入(チラシ)で取り込み自立できないか	特になし	【質疑】 補助金の消耗品費及び原材料の内容から事業収入(チラシ)で取り込み自立できないか			【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 補助対象経費の90%以上が報償費として計上されている。市民活動団体事業補助金として適正なのかどうか、違和感を感じます。 【意見】 事業の実施についてコロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。	【参加者人数について】→中学生2人+高校生3人+大学生3人+一般10人+a=20人とし「算出しています」。応募者数30人だと仮定していますが、定員25人と修正して参加者募集の努力をさせていただいたと思います。 【事業の実施について】コロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。			
23	5回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	47	特定非営利活動法人市民後見センター	令和元年度申請時 ヒアリング実施団体 ※内容は【参考】過去の質疑等の経過一覧をご覧ください	昨年度、ヒアリングを実施し、事業の継続実施はお認めいただいているところで、新聞折込料については、効果の検証を行うことを条件に認められておりましたが、新型コロナウイルスの影響で検証に至らず、今年度継続して費用が計上されています。新たに資料作成の監修に係る費用が計上されており、計上理由は下記のとおりです。 【計上理由】 社会福祉施設での回覧や電話相談やネット相談にも活用できるよう、より詳細で分かりやすい資料を作成するため監修を外部依頼する。 (資料監修者は司法書士の若佐博行氏を予定)	【質疑】 活動日と成果の検証(過去から現在)市活動課題を明確化が欲しい	特になし	【質疑】 活動日と成果の検証(過去から現在)市活動課題を明確化が欲しい	【質疑】 ステパアップ講座の講師はどなたがやられるのでしょうか。公的な方や社協の方などでしたら報酬は必要ないのでしょうか			【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 写真記録費の内訳を教えてください。	【質疑】 事業計画に記載されている養成講座について、前半が平日実施となっており、それ自体は参加者の利便性が良いと思うのですが、参加対象者に「中学生」が含まれていることには問題はないのでしょうか。また、実習を含めた講座全体の内容は、中学生でも対応可能なものでしょうか。 【質問理由】 中学生を対象に含めることが法的に問題ないとしても、生徒への安全健康面で問題ないのか、団体の考え方を確認したいと思っております。 【意見】 今回は事業内容に変更があり、講座自体は新しいものです。市民舞台芸術文化活動の支援という団体の事業目的に含める内容であり、団体として継続の必要性は認められます。また、収支予算書の補助対象経費のうち、前年度2割以上増の費目もありますが、精算内容等から妥当なものと思えます。 なお、左記質疑の回答にもよりますが、現時点では講座の参加対象者は高校生以上の方が良いのではないかと思っております。	【質疑】 補助対象経費の90%以上が報償費として計上されている。市民活動団体事業補助金として適正なのかどうか、違和感を感じます。 【意見】 事業の実施についてコロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。	【参加者人数について】→中学生2人+高校生3人+大学生3人+一般10人+a=20人とし「算出しています」。応募者数30人だと仮定していますが、定員25人と修正して参加者募集の努力をさせていただいたと思います。 【事業の実施について】コロナ対策は、3密を避け、消毒、体温測定、などを行い、実施予定通りとしています。今後緊急事態宣言が出た場合には、臨機応変に対応します。 【成果及び目標について】レベル設定・技術指導＝市民が自ら舞台技術を学ぶことで、簡単なサークル活動発達の舞台スタッフ担当し、専門家の補助を受けながら活躍できるようにしたいです。その結果、報償費等の経費削減に努めます。目標＝技術指導を受けた学生や市民が、様々な文化スクール公演を舞台スタッフとして支援できるようにすることを目指しています。 【写真記録費について】写真費20,000円の内訳＝全1回分の活動記録に残すための費用。1回あたりの経費500円の活動費の他に、編集費・印刷費等の実費を想定しています。 鈴木委員→中学生でも講座の対応が可能か？＝中学生及び高校生に関しては、保護者の同意を求めます。内容は中学生でも対応可能です。				

事業番号	申請回数等	団体番号	団体名	昨年度指摘事項と改善状況	申請時、審査会への申し送り事項	各委員からの質疑・意見等(意見につきましては、団体へお伝えいたします。)								団体への確認内容または事務局からの回答		
						榎戸委員	工藤委員	土屋委員	柳澤委員	岩松委員	大西委員	松井委員	小野委員		鈴木委員	竹中委員
37	5回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	81	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション	なし	新型コロナウイルスの影響もあり、例年開催していた事業が会場の都合上開催できないことから、観劇事業を実施予定です。事務局としては、特設問題のないものと考えておりますが、例年から事業内容に大きく変更があることから、新設事業ではなく継続事業としての申請となります。 コロナ対策については、公共施設のルールのとおり、席の間隔を設け、検温、消毒、アンケートのインターネットでの実			【意見】 コロナ禍の状況下においては、団体のミッションに合致する内容であれば70分間内容を組み替えることは特設問題などと思いません。逆に内容を変えたことで、これまで何が通っていたのかを団体が意識されることで、今後活動に活かせるようなことや、活動展開によってプラスになることが学べるかもしれません。	特になし	【意見】 新型コロナウイルスの影響で活動内容の判断難しい		特になし	【質疑】 82,500円は何日分なのか、内訳を教えてください。	【意見】 事業内容の変更については、現在の社会情勢からやむを得ないと思います。また、変更後の観劇事業は、事業の目的に沿った内容であり、事務局意見と同様問題ないと思います。	【報告費の内訳について】 82,500円は公演日ごとの自分、2公演分でお1人に対しての報告費となります。計3名に支払い予定で、247,500円となります。	
40	4回目の団体	88	ぼっけ生きもの倶楽部	なし			【質疑】 提案事業はコロナの状況に変化がない場合も実施可能ですか？といったコロナ対策を取られますか？		【質疑】 チラシの印刷数を再検討下さい。	【質疑】 当初の目的と目標の効果は、更に新たな目標設定が必要、内容の見直しなどあるは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。		【質疑】 AutoCAD金額が1か月分だけの計上ですが、他の月は必要ないか教えてください。		【コロナ対応について】 屋外での事業となるため、今後も計画通りに事業を行う予定となります。実施の際は、人が密集しないように距離を保ちながら、使用する道具の消毒、マスク着用にて事業を行います。 【市川市民活動団体事業補助金の継続について】 【事務局より】 市川市民活動団体事業補助金では3年で自立した事業を行ういただくことも一つの目的としておりますが、一部事業については、継続した支援も必要であると考えております。 このことから、4年目以降については、補助金の継続について、効果や事業目的、資金面、また市の事業の補助的なものであるといった観点から審査を行い、必要性が認められた場合には、継続して補助を受けることが可能となります。 分野を問わず各団体に自立の道を検討していただくことについては、今後も事務局より、機会があるごとに伝えさせていただきます。 【CADの使用料について】 AutoCADの使用料については、30年度の審査会で審議をふまえ、団体の作成に必要な3か月分分の計上となっております。		
41	4回目の団体	90	市川子ども文化ネットワーク	なし			【質疑】 ・つながりカフェの参加費が一律1000円になった理由は？ ・提案事業はコロナの状況に変化がない場合も、20名程度の参加費数字は妥当ですか？また、その場合の三密対策は？ ・実際にオンライン参加希望者がいた場合、どう参加費を徴収されますか？運営側の体制も問題ないですか？		【質疑】 チラシの印刷数を再検討下さい。今年またチラシを増やした理由は何でしょうか？ あるいは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。	【質疑】 当初の目的と目標の効果は、更に新たな目標設定が必要、内容の見直しなどあるは、5万枚のチラシの配布方法を説明下さい。		【意見】 9回全て外部講師での計画ですが、会員15名おられるので、2～3回は経費豊かな会員の力を内部講師として、講演会を開催することを検討した方が良いと思います。内部講師は、講演時間を短くして質疑応答時間を多くすれば、参加者にとってより有意義な講演会になると思います。	【質疑】 「もともと夜間のカフェの参加費は1000円、昼間のカフェの参加費は500円としており、今年度は夜間のみの開催のため、一律1000円の参加費になりました。活動を縮小した理由としては、今年度からの助成金の減額が見込まれるため、回数減らすことになりました。（6月～8月はオンラインでの開催のため、まだ行前準備のため、参加費を500円で行いました。9月以降は参加費1000円に予定しています。） 【参加人数とコロナ対策について】 ・すでにオンラインでの開催を取り入れており、三密対策をとっています。オンライン開催であっても、交流のしやすい観点から、参加者数は20名程度が妥当だと考えています。参加費の徴収については、現在は銀行振込を利用しています。運営も今のところ問題なく行っています。 【チラシ印刷について】 ・5万枚の内訳は、つながりカフェ用25000枚、ごごわらい会議用25000枚を予定していました。原価としては、昨年度の参加費が目標に達していたため、参加費増を目標として枚数を増やしています。配布先は、それぞれ市内小学校の全校児童配布を予定しています。ただ、現在の感染拡大の影響で、つながりカフェのチラシの印刷配布は見合わせており、実際は印刷数が大きく減る見込みとなっています。 【目標の効果と今後について】 ・3年間の実績として、講師をのべ48人お招きし、参加者はのべ631人となっています。参加者どうし、または参加者と講師の間につながりができ、カフェの外でもお互いそれぞれの活動の参加者になったり、ボランティアとして協力したり、新たな活動のきっかけになっています。また、普段はなかなか知ることもできない専門的な情報や知識を得られる場になっており、参加者一人一人のスキルアップも図れています。新たな目標としては、オンラインを導入することでもお話しできなかった遠方の講師をお招きし、今まで以上にテーマの幅を広げ、出会いの幅を広げたいと考えています。			
42	4回目の団体 + 昨年度指摘事項のある団体	91	ASB	【昨年度実績報告時の指摘事項】 事業におけるキャンプについて、税金を原資とした補助金である事を鑑み、広く一般市民への利益がある事業だからから事業計画（参加募集方法、参加費内訳の在り方を含め）の立案・記載をすようお願いします。 【令和2年度申請時の改善状況】 広報活動のクオリティ向上のための改善としてフェイスブックページを活用することにしました。また、ホームページを更新して最新の情報にしています。			【質疑】 ・参加想定数が1と半端に見えますが、なぜ13名なのですか？その数的根拠をお聞かせください。また野外活動や工作教室の比率はどのくらいですか？ ・過去審査委員から、「参加人数も少なく、悪い言い方をすれば、お友達とおし補助金をもらって安い費用でキャンプに行けるというように思えてしまふ」という指摘がありました。また指摘事項として「一般市民への利益がある事業だとわかる事業計画」が求められていますが、これらについての具体的な改善点はどのようなものでしょうか？ 【意見】 ・広報活動のクオリティ向上のための改善としてフェイスブックページを活用したことと、これは結構なのですが、ただFBにイベントを掲載しただけでは効果は上がりません。周りの人への呼びかけでASBのFBページ自体のいいね数を増やしたり、野外教室のイベント情報をきちんと記載するなど努力あって、はじめて効果や改善策が認められると思います。		【質疑】 8月のキャンプの実施の有無によって、事業計画が変更になるのではないのでしょうか。	【質疑】 事業活動の市民の認知広がりや考え、新たな計画による申請としては？	【質疑】 キャンプの参加費が13人、工作教室は16人となりますがこの違いは？	【質疑】 新代3,200円(20kg)=1,500円の根拠を教えてください。	【意見】 指摘事項については、広報活動において具体的な改善の取り組みがなされていると思います。 【事務局への確認内容】 【事務局より】 参加人数および事業の改善点については、キャンプの参加人数については、昨年参加者家族2家族大人3名、子供4名、ピート参加者2家族大人2名、子供4名の合計13名です。 良質な改善点としてホームページの問い合わせと今年の初めに実施した工作教室で実施しました方々にお知らせを発送して参加者の意思を確認しています。 また、普段の生活では行うことができない遊びを経験することでキャンプ場でイベントを開催しています。 【工作教室の参加人数について】 昨年までの実績ページで算出したものと異なります。 【事業の実績について】 下記対策を行ったうえで、予定通りイベントを行います。 コロナウイルス対策としては、 1. 消毒用のアルコールまたはジェル状の薬品を購入して使っていたります 2. 紙コップや紙皿などを購入して家庭ごみとして処分できる限りでの用意をする 3. テント泊を快適に過ごしていただくために風通しの工夫を行うことで感染防止に心掛けるとなります。 【事業内容の見直しについて】 今年のイベントに関しては、コロナウイルスの影響で開催することも議論があっただけですが毎年開催している事、参加者の人数に関わらず好評を得ているためできるだけの活動はやっていこうという結論になったので決定しました 【新代について】 昨年開催した野外教室で余った薪が10kg程度残っていたため今回は去年分と併せて20kgあれば足りると結論が出たので約10kg分の薪を購入する事で合意しました。			
43	3回目の団体 + その他事務局が必要と認める団体	92	市川でよい芝居をみる会	なし	補助金申請団体でもある、NPO法人市川子ども文化ステーション（※NPO法人市川子ども文化ステーションが申請する事業とは別のものとなります。）と共催で開催する事業となります。 費用を1/2で折半していることから、1/2分を子ども文化ステーションからの協賛金として収入欄に計上しております。共催団体が共に当該事業を補助申請しているものではなく、資金確保の面からも、共催での開催について、特設の問題はないかと考えておりますが、今回このようなケースが初めてであったことから、審査会にお送りするものです。 コロナ対策については、公共施設のルールのとおり、席の間隔を設け、検温、消毒、換気の実施等を行います。			【意見】 市の規定に抵触するものでなければ、特に問題ないかと思いました。	特になし	【質疑】 元年の活動が会員みんなで企画し可能な開催がどうできなかったですか		特になし	【質疑】 今年度の共催開催については、事業計画い？団体への支払いですか？必支払い時の、源泉徴収手続きは発生していますか？いせんか？	【意見】 今年度の共催開催については、事業計画い？団体への支払いですか？必支払い時の、源泉徴収手続きは発生していますか？いせんか？	【事務局への確認依頼】 源泉徴収手続きに関してケースによっては、発生することもあるとお聞きしたことがあります。 【意見】 市川市民活動団体事業補助金に關し（特に今回の対象事業に關し）、源泉徴収義務が発生するケース、しないケースを教えてください。また、発生する場合は源泉徴収の必要性的判断は困難であると判断してはならないかと思っております。徴収義務が発生する場合は源泉徴収義務者に關しても教えてください。	【前年度の事業について】 公演対象とした演目が見つからなかったこと、劇団の上演料、公演時期の折り合いがつかず、会場確保も困難であったことから、昨年度は事業未実施となりました。 【チラシの配布先について】 チラシの配布先は下記の通りです。 チラシは、市内小学校の全児童あて23,000枚、市内公共施設1,500枚、各委員およびサポーター1,500枚、地域の新聞等への折込用10,000枚、友誼団体のイベント時の折込み配布2,000枚、その他2,000枚 【源泉徴収について】 団体への支払いとなることと、今年一度、市民活動団体事業補助金に關し、源泉徴収義務が発生する場合があります。このため、個々で詳細を問合せいただき、引き続き各団体適正な対応を行うよう周知してまいります。

事業 番号	申請 回数等	団体 番号	団体名	昨年度指摘事項と改善状況	申請時、審査会への申し送り事項	各委員からの質疑・意見等(意見につきましては、団体へお伝えいたします。)								団体への確認内容または事務局からの回答		
						観客委員	工藤委員	土屋委員	柳澤委員	岩松委員	大西委員	松井委員	小野委員		鈴木委員	竹中委員
45	3回目の団体 + その他事務局が 必要と認める 団体	96	シニア劇団 波瀾ばんばん座	なし	過去2年は出前公演して芝居を披露していましたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は出前公演を行わないため、全日露ホールでの演劇公演の事業を補助事業として申請いたします。 これにより、費用等が昨年までは大きく異なることから、審査会にお諮りするものです。なお、目的を同じくして手法を変えて行う事業であることから、新規事業ではなく継続事業としての申請となります。 コロナ対策については、全国公立文化施設協会が発行する「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守し、事前検温、マスク着用、小道具等の消毒、間隔の確保、換気、大声をたさない、不参加者のライブ配信等の感染予防を行いなから事業を行います。				特になし	【質疑】 波劇(ノボ)盛劇団の制作費用(総額)は事業費(木戸銭収入)自立事業か			特になし	【質疑】 シニア劇団の公演参加者からは、参加費は徴収しないのですか。 【意見】 前年度実績によれば、年間7回市内各所に出前公演を実施して750人の参加となっています。一方、今年度計画では、1か所の4回公演で600人の参加を見込んでいます。事業手法の変更はやむを得ないと思いますが、600人の参加を確保するためには、事前のPR等広報活動の一層の充実が求められます。	【意見】 ①総額費の支払い、個人への支払い？団体への支払いですか？②支払い時の、源泉徴収手続きは発生していますか？いせんか？ 【意見】 （事務局への確認依頼） 源泉徴収手続きに関してケースによっては、発生することはないともあると聞きましたことあります。今一度、市民活動団体事業補助金に関し（特に今回の対象6事業に充当してあります。）、源泉徴収について）支払い個人宛になることですか。徴収義務が発生する場合は徴収義務者に関しても教えてください。	【事業の自立について】 当団体は事業の公益性などが認められたことから、平成30年度から補助金交付決定がなされております。今年度3年目の申請となり、事業の手法自体が変更となっておりますがその目的などに変更があったものではありません。収入に対して、支出が大きく発生していることから、補助金を申請しております。 また、団体からは自立に向けて下記の通りの回答がありました。 劇団では消耗品の削減、出前公演に係る出演者数の絞りこみ、会費の充当などの工夫を重ね、諸経費の削減を図りながら自立を目指しています。今年度は稀にある世情ではありますが、このような時こそ知恵を結集し本公演をおして高齢者へ「生きる勇氣と希望」を与える事業を継続します。 【参加費について】 劇団員から各公演の参加料としては徴収していません。会費を徴収し、各公演費や団体経費に充当してあります。 【源泉徴収について】 支払い個人宛になることですか。徴収義務が発生する場合は徴収義務者に関しても教えてください。
48	1回目の団体	103	三世代の観劇交流支援の会			【意見】 ・各事業において、どういった世代交流が生まれているのか、またどういった工夫をされているのかを共有したい。他の多・異世代交流事業をさせている団体の参考になると思います。		【意見】 研つき・かるた大会など、予定している対象者規模での実施では、コロナ対応が難しくなります。消耗品にフェイスシールド・アルコール等を加えることを希望します。また、対象規模はもう少し少ない方がいいのではないですか。	【質疑】 市民の評価に繋がる実績づくりが課題 【意見】 計画と実行と検証を必ずお願いします			【意見】 ゲームと遊び場では、チケットを販売されていますが、お餅及びお餅入餅はチケット代金の計上が有りませんので、ご検討をお願いします。 【意見】 団体の事業目的、内容から補助するための要件は、問題ないと思います。補助対象事業の内容がイベントやフェスティバルですので、現在の社会状況が例年と大きく異なることもあり、実施する場合には諸準備に十全を期していただきたいと思えます。	【意見】 今後の課題について行事終了後、問題点・改善点について意見を集め次回に繋げていきたいと考えています。 コロナ対策について予定している行事については、中止せず、人数制限対策、マスク着用、消毒、体温測定、を徹底し、3回回遊して実施したいと考えています。 ※なお、コロナ対策費用を新たに盛り込んだことにより、消耗品費が15,562円増額となり、以下のとおり各金額に変更がございます 補助対象事業費総額：97,500 → 113,062円 補助対象経費総額：97,500 → 113,062円 交付申請額：48,750 → 56,531円			